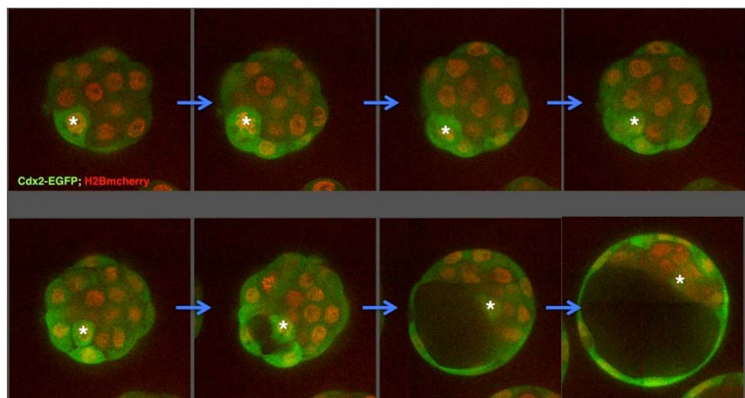
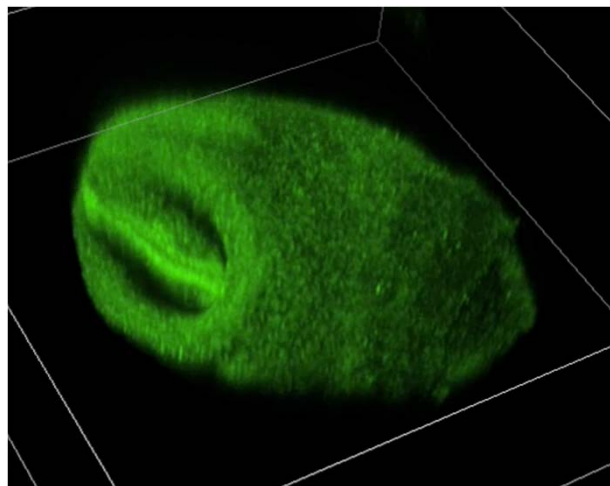
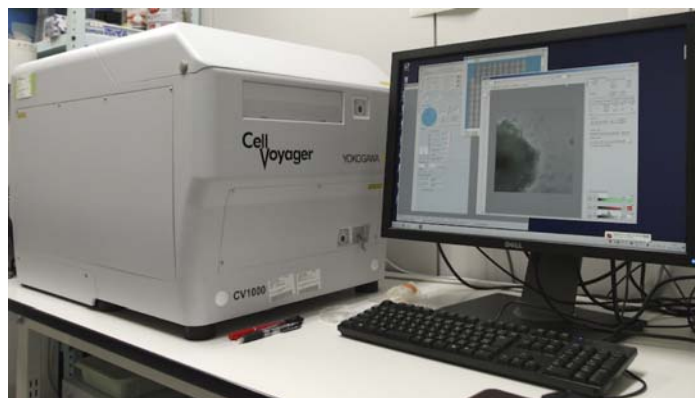


インキュベーター設置型スピニングディスク顕微鏡、2光子顕微鏡などを用いて数日間に至る長時間のタイムラプス観察技術支援を行う。細胞、器官、組織に加え、生体イメージングにも対応するため、研究所内で維持している各種のレポーターマウス利用、試料の準備、培養条件および撮影条件の設定、実際の撮影までの技術支援を行う。



胚を生かしたまま細胞の挙動の連続観察



マウス胚の立体タイムラプス観察



利用する設備：

インキュベーター設置型スピニングディスク顕微鏡 3台

2光子顕微鏡 (倒立、ファイバーレーザー、1045nm、インキュベーター付き)

2光子顕微鏡 (正立、倒立顕微鏡、1300nmまでの励起可) など